

血液・便・尿の検査項目

種類	項目名	説明	
血液一般	赤血球数(RBC)	貧血で減少します。また脱水や多血症では増加します。	
	白血球数(WBC)	感染症などの炎症や血液疾患では著明に増減します。ストレスや体調不良でも軽度増加します。	
	血色素(Hb)	貧血の指標です。貧血は消化性潰瘍や痔、子宮筋腫、月経過多、癌等の出血性疾患でおこります。	
	ヘマトクリット(Ht)	貧血で低値になります。貧血は出血性疾患のほか、鉄分やビタミン欠乏でもおこります。脱水では高値になります。	
	平均赤血球容積(MCV)	貧血のタイプ判定をみます。低値の場合は出血や鉄欠乏、高値の場合はビタミン欠乏や肝腎の疾患の疑いです。	
	平均赤血球血色素量(MCH)	貧血のタイプ判定をみます。MCV、MCHCと組み合わせて判定します。	
	MCHC	貧血のタイプ判定をみます。MCV、MCHと組み合わせて判定します。	
	血小板数	血液の成分です。止血作用があります。肝疾患や血液疾患で低値になり、出血傾向(鼻血や皮下出血)がでます。	
	Basocyte(好塩基球)	アレルギー疾患で増加します。	
	Eosinocyte(好酸球)	アレルギー疾患や寄生虫感染症で増加します。	
	MyeloBlast(骨髄芽球)	通常は血液中にありません。白血病などの血液疾患で陽性になります。	
	ProMyelocyte(前骨髄球)	通常は血液中にありません。白血病などの血液疾患で陽性になります。	
	Myelocyte(骨髄球)	重症感染症や悪性疾患のときに血液中に出現します。	
	MetaMyelocyte(後骨髄球)	重症感染症や悪性疾患のときに血液中に出現します。	
	Stab(桿状核球)	白血球の一つです。細菌感染症で増加します。	
	Seg(分葉核球)	白血球の一つです。細菌感染症で増加します。	
	Neutrocyte(好中球)	白血球の一つです。細菌感染症で増加します。	
	Lymphocyte(リンパ球)	白血球の一つです。ウイルス感染症で増加します。	
	A.Lymphocyte(異型リンパ球)	ウイルス感染症や薬剤投与時に出現します。	
	Monocyte(単球)	結核などの感染症や血液疾患で著明に増加します。	
	CRP定量	炎症反応の一つです。感染症や自己免疫疾患で高値になります。かぜなどの体調不良でもあがります。	
	生化学検査	総蛋白	低値の場合は低栄養や腎疾患、高値の場合は肝疾患・膠原病・骨髄腫などが疑われます。
		アルブミン(Alb)	栄養分となるたんぱく質です。低値の場合は低栄養や肝臓・腎疾患が疑われます。
総ビリルビン		黄疸色素です。肝臓や胆道の疾患で高くなります。体質的に絶食時に高くなる人もいます。	
直接ビリルビン		黄疸色素の一つです。肝臓・胆道の疾患で高くなります。	
肝機能	AST(GOT)	肝酵素の一つで血液や筋肉にも含まれます。肝障害時に高く、溶血や筋肉障害時にもあがります。	
	ALT(GPT)	肝酵素です。慢性肝炎など肝障害で上昇します。また脂肪肝でもあがります。	
	ALP	肝臓と骨に含まれる酵素です。肝胆道疾患や骨疾患でも上昇します。	
	コリンエステラーゼ	肝臓で作られる酵素です。脂肪肝や肥満で高値、肝硬変や低栄養で低値になります。	
	γ-GTP	過度の飲酒や薬剤性の肝障害のときに上昇します。黄疸や肝腫瘍でもあがります。	
一般酵素	乳酸脱水素酵素(LDH)	ほとんどの臓器に存在する酵素です。高値の場合は何らかの臓器の障害を示す可能性があります。採血時の溶血で上がることもあります。	
	クレアチン・フォスフォキナーゼ(CPK)	筋肉に含まれる酵素です。筋炎や心筋梗塞、甲状腺機能低下症で高値になります。激しい運動後やコレステロールの薬でも上昇します。	
	アミラーゼ	膵臓と唾液腺の酵素です。膵炎と唾液腺炎で著明に上昇します。著明な低値は膵腫瘍のこともあります。	
脂質	総コレステロール	細胞膜やホルモンの原料になります。過剰摂取で動脈硬化(脳梗塞や心筋梗塞)の原因になります。	
	LDLコレステロール	いわゆる悪玉コレステロールです。高値の場合は動脈硬化の危険因子です。	
	HDLコレステロール	善玉コレステロールです。低値の場合は動脈硬化の危険因子です。	
	中性脂肪	食事での脂肪摂取で高値になります。コレステロールとともに動脈硬化に関連します。	
腎機能	尿酸	痛風の原因物質です。動物性食品やビール摂取にて高値になります。	
	尿素窒素(BUN)	腎機能の一つです。脱水や腎障害のときに上昇します。また高たんぱくな食事でもあがります。	
	クレアチニン	腎機能の一つです。脱水や腎障害のときに上昇します。また体中の筋肉量が減ると低下します。	
電解質ミネラル	ナトリウム(Na)	電解質の一つです。腎疾患や心疾患、甲状腺疾患で増減します。塩分の取り過ぎでもあがります。	
	クロール(Cl)	電解質の一つです。Naとともに腎疾患や呼吸器疾患で大きく変動します。	
	カリウム(K)	電解質の一つです。腎障害や溶血で上昇します。下剤や利尿剤服用で低下します。	
	カルシウム(Ca)	電解質の一つです。副甲状腺機能異常で増減します。転移性骨腫瘍では著明高値になります。	
	鉄(Fe)	潰瘍や子宮筋腫などの出血性疾患や食事からの鉄欠乏で低値になります。	

血液・便・尿の検査項目

種類	項目名	説明
糖尿病	グルコース(血糖)	空腹時血糖が126mg/dl以上、または食後血糖200mg/dl以上で糖尿病の診断です。
	ヘモグロビンA1c	糖尿病の指標です。空腹時血糖が正常な境界型糖尿病でも高値になります。
尿検査	尿蛋白	腎疾患では陽性になります。体質的に運動起立時に弱陽性になる人もいます。
	尿糖(糖定性)	尿糖が陽性で血糖値が高い場合は糖尿病と診断されますが、血糖値が高くても尿糖が陰性になる場合もあります。腎臓、下垂体、副腎、甲状腺疾患などでも陽性になることがあります。
	ウロビリノーゲン	(+/-)が正常です。肝疾患や腸疾患で変動します。
	尿ビリルビン	黄疸があるときに陽性になります。血清ビリルビンとともに高値になります。
	尿比重	肝臓と骨に含まれる酵素です。肝胆道疾患や骨疾患でも上昇します。
	尿pH	糖尿病、肺気腫、気管支喘息、脱水、嘔吐、腎不全等さまざまな疾患で変動します。採尿後時間がたつとアルカリ(高値)に傾きます。
	尿アセトン体	糖尿病や低栄養で陽性になります。検査絶食が長くても陽性になります。
	尿潜血	腎炎や尿路結石、尿路腫瘍では陽性になります。膀胱炎や月経時にも陽性になります。
	腫瘍マーカー	SCC抗原
癌胎児性抗原(CEA)		肺癌・胃癌・大腸癌で上昇します。喫煙でもあがりやす。
α-フェトプロテイン		肝臓癌や精巣卵巣腫瘍で著明に高値になります。慢性肝炎でも上昇します。
CA19-9		膵癌・胆道癌・胃癌・大腸癌・卵巣癌で上昇します。糖尿病や膵炎や肝炎でもあがります。
CA125		【女性のみ】卵巣癌において高値を示しますが、子宮内膜症でも高値を示します。肺癌、肝癌、胆嚢癌、膵癌でも高値を示すことがあります。
前立腺特異抗原(PSA)		【男性のみ】前立腺肥大症でも10前後まで高値になります。著明な高値は前立腺癌の疑いがあります。
PIVKA II		肝臓癌で上昇します。α-フェトプロテインと併用することによってより正確な診断が可能です。
抗p53抗体		他の腫瘍マーカーと組み合わせて検査することで、食道癌、大腸癌及び乳癌の早期発見に有効です。
sIL-2R		悪性リンパ腫で上昇します。
便潜血検査	便中ヒトヘモグロビン定量1日目判定	便潜血陽性的の場合、出血源確認(痔、潰瘍、憩室、大腸ポリープ、大腸癌)には大腸内視鏡検査が必要です。
	便中ヒトヘモグロビン定量2日目判定	便潜血が1回でも陽性ならば精密検査が必要です。
胃がんリスク検診(ABC検診)	ABC分類	ピロリ菌抗体価とペプシノゲン判定に基づく胃癌発症リスクです。Dに近いほど胃癌発症リスクが高いことを示しています。
	ピロリ菌抗体価	数値が高いほどピロリ菌が陽性の可能性があります。除菌に成功すると徐々に低下します。
	ペプシノゲン1	胃で分泌される消化酵素です。胃炎で低値になります。
	ペプシノゲン2	胃で分泌される消化酵素です。胃炎で低値になります。
	ペプシノゲン1/2比	3以下の場合、萎縮性胃炎の可能性がります。この場合は胃癌の発生母地になりえます。
	ペプシノゲン判定	ペプシノゲン1と1/2比をもとに、胃粘膜萎縮度を判定します。
肝炎	HBs抗原	B型肝炎の検査です。陽性的の場合、ウイルス感染を意味します。肝機能障害があれば慢性肝炎の可能性がります。
	HBs抗体[PHA]	B型肝炎ウイルスの既往感染の検査です。陽性的の場合には以前の感染を示しています。病的意義はありません。
	HCV抗体	C型肝炎の検査です。陽性的の場合にはウイルス感染の可能性がります。精密検査が必要です。
甲状腺	サイログロブリン	甲状腺マーカーです。慢性甲状腺炎や甲状腺腫瘍で高値になります。良悪性の判定は困難です。
	甲状腺刺激ホルモン(TSH)	甲状腺刺激ホルモンです。甲状腺機能異常で増減します。
	FT3	甲状腺ホルモンが過剰もしくは不足しているのかをみます。
	FT4	甲状腺ホルモンが過剰もしくは不足しているのかをみます。

オプション

種類	項目名	説明
LOXインデックス (脳梗塞・心筋梗塞リスクマーカー)	LOX-index	動脈硬化の進行状況を調べ、将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを予測します。コレステロールの薬、感染症やリウマチは評価に影響することがあります。
リウマチ	抗CCP抗体	現在もしくは将来関節リウマチになる可能性が非常に高いときに高値を示すため、関節リウマチの診断の補助として大変有用です。
マイクロアレイ	消化器がんマイクロアレイ血液検査	胃癌・大腸癌・胆道癌・膵臓癌を調べる遺伝子検査です。